

第49回緑区女性ソフトボール大会 実施要項

主催 名古屋市緑区体育協会・名古屋市緑区役所

1 目 的 ソフトボールを通じ、区民の体位向上と健全なスポーツの育成発展を図ります。

2 日 時 令和8年10月3日（土）午前8時15分～ 開 会 式

午前8時30分～ 試合開始

※雨天中止（天候及びグラウンド状態に応じて判断します。）

3 会 場 新海池公園野球場

4 実施方法

（1）1チーム10名以上16名以内とします。

（2）参加チームが4チーム以上の場合、トーナメント方式で行います。参加チームが3チーム以下の場合は、総当り戦を行います。

（3）使用球は、12inch(旧3号)とします。（試合球は主催者で用意します。）

（4）試合バットは、ソフトボール用12inch(旧3号)バットとし、各チームで持参して下さい。

（5）ルールは、日本ソフトボール協会競技規則スローピッチ・ルールで行います。

（別紙参考）

（6）試合時間の管理は、審判員が行います。

（7）試合（トーナメント方式の決勝戦を除く）は7回戦とし、試合時間が1時間を超えた場合は新しいイニングには入りません。なお、5回以降7点以上でコールドゲームとします。延長戦は行わず、7回終了時または試合時間経過後に同点のときは、総当り戦の場合は引き分けとし、トーナメント方式の場合は抽選により勝敗を決定します。

（8）トーナメント方式の決勝戦は7回戦とし、試合時間の制限は設けません。なお、5回以降7点以上でコールドゲームとします。7回終了時に同点のときは延長戦として2回タイブレークを行います。延長戦終了時に同点のときは抽選により勝敗を決定します。

（9）総当り戦の順位は、下記の基準で定めます。

I 勝ち数が多いチーム（引き分けは0.5勝とみなす）が上位。

II 勝ち数が並ぶチームが2チームある場合

・2チームの直接対決の勝者が上位。

・2チームの直接対決が引き分けの場合、全試合合計の得失点差が大きいチームが上位。

- ・ 2チームの直接対決が引き分けて、得失点差が全く同じ場合は、抽選で決める。

Ⅲ 勝ち数が並ぶチームが3チーム以上ある場合

- ・ 全試合合計の得失点差が大きいチームが上位。
- ・ 得失点差が全く同じチームが2チーム以上ある場合は、抽選で決める。

(10) 審判は、名古屋市ソフトボール協会緑支部審判部が行ないます。

(11) ベンチは若番が1塁側・老番が3塁側とし、攻撃順はコイントスにより決定します。

(12) 抗議は、監督以外は認めません。(フェア、ファール、アウト、セーフ、ストライク、ボール、イリーガル等審判の正確性に含まれる事項に対しては、チームは説明を求める事はできません。)

(13) 選手の交代は、必ず監督が球審に申し出てください。

(14) ファールボールは、攻撃側でただちに回収し、運営委員に返してください。

(15) いかなる理由があっても、審判員および役員に手をかけた場合は、その選手は退場させそのチームは場合により失格とします。

(16) 選手は、試合開始の30分前に全員集合し、お互いのオーダー表の交換を行って下さい。(オーダー表は主催者で用意する)。

試合開始時刻が来ても選手が集合しないチームは棄権とします。

(17) 各チームの第1試合のみ試合前5分間のシートノックをすることができます。

(18) 大会当日の登録選手の変更は各チームの第1試合開始までとします。なお、やむを得ない場合に限り、本項によらない取扱いができるものとします。

(19) 服装はソフトボールのできる服装で、必ず背番号をつけてください。(ゼッケン・ビブス等可) 打者及び走者はヘルメットを着用してください。キャッチャーはスロートガード付マスクを必ず着用し、できるだけボディプロテクター・ヘルメット・レガースもあわせて着用してください。背番号は監督が30番、主将は10番とします。

※やむを得ない場合は片耳ヘルメットでも可とします。

(20) 1塁は、守備者と打者走者との接触等の危険防止のためダブルベースを使用します。

(21) 雨天等の場合は、午前7時00分現在で中止か決行かを決定します。当日の大会開催については、独自の判断をせず、区役所警備員室(621-2111)へ確認してください。

(22) 試合を棄権する場合は、9月16日(水)午後5時までに区役所へ連絡してください。

5 その他

- (1) 参加費につきまして、申込み期限前のキャンセル、雨天による大会中止の場合以外は返金しません。また、大会開催中に中止になった場合、1試合でも試合を消化したチームにつきましては、参加費の返金はしません。
- (2) 紙くず、空き缶等は、必ず各自家庭に持ち帰ってください。
- (3) 自動車は必ず公園内の野球場利用者専用駐車場を利用し、路上駐車はしないでください。
- (4) 各チームで野球場利用者専用駐車場の整備（案内・ゲート開閉）をお願いします。
- (5) 競技中の事故については、応急処置をいたします。その後については、主催者が加入する傷害保険の範囲内で対応いたします。
- (6) 主催者側で加入する傷害保険は、登録選手及び監督に限りますので、応援者等は十分に注意してください。
- (7) 今後の大会運営に影響しますので、以上の事項は必ず選手全員および応援者にも、徹底させてください。

スローピッチ・ルールについて（参考）

- 1 チームは10人、エキストラヒッターを採用したときは11人で編成し、全員が打撃を行なう。
※エキストラヒッターは打撃専門のプレイヤーで守備位置にはつかない。
※エキストラヒッターは代打者・代走者と交代できる。交代した選手が次のエキストラヒッターになる。
- 2 守備につく10人目の選手は「ショートフィルダー」と呼び、投手・捕手の定位置以外のフェア地域のどの場所を守備してもよい。
- 3 選手が10人（エキストラヒッターを採用したときは11人）より少なくなった場合は没収試合が宣告されます。
- 4 デッドボールによる出塁は認められない。
- 5 打者を敬遠したい時は、その旨を球審に告げるにより、直ちに打者を一塁へ進塁させることが出来る。
- 6 投球は本塁に達するまでの間、地面から3m以下、1.5m以上の空間をアーチを描くように投げなくてはならない。
- 7 打者はバントをしたり、打球を高く弾ませるために、打者がバットを振りおろすようにして地面にたたきつける打ち方をすると、アウトになる。
- 8 ツーストライク後の打球がファウルボールになった場合、打者はアウトになる。
- 9 盗塁はできない。
- 10 走者は投球が打たれない限り、離塁することはできない。

<特別ルール>

※ピッチャープレートからホームベースまでの距離は13.11mとします。